

|           |   |
|-----------|---|
| 子どもの姿     | <ul style="list-style-type: none"><li>◆どのような子どもの姿があったのか？この活動を考えるきっかけとなった子どもの姿<ul style="list-style-type: none"><li>・ 普段の絵の時間の活動や遊びの中、アクリル絵の具を使った探求活動などを通して色を作ることやその色を使って好きなものを描くことを積み重ねてきている。</li><li>・ 自由な表現を好む子、自由な表現が苦手な子がいる中で、内面的なものを絵や色で表現してみることによって自己表現の幅を広げられるようになる。</li></ul></li></ul>   |
| 問い        | <ul style="list-style-type: none"><li>◆思考のきっかけとなる子どもへの問い<ul style="list-style-type: none"><li>「こんな気持ちの時ってどんな色？」</li><li>「この色ってどんな気持ちだろう？」</li></ul></li></ul>   |
| 活動をデザインする | <ul style="list-style-type: none"><li>◆活動のプロセス<ul style="list-style-type: none"><li>・ あらかじめ複数の円を描いてある画用紙を用意し、その円を「楽しい時」「悲しい時」「怒っている時」のそれぞれの色で塗ってみる。残りの円は自分で好きな気持ちや感情を選んで色を塗ってみる。</li></ul></li><li>◆保育者の思い<ul style="list-style-type: none"><li>・ 感情と色をリンクさせてみることで表現力の幅を広げられるようにしたい。</li><li>・ 気持ちに合う色を考えたり、出来上がった色から気持ちを考えてみたりと試行錯誤して取り組んでほしい。</li><li>・ 振り返りの中で友達と楽しさを共有したり、お互いの作品の良さに気づき、認め合ってほしい。</li></ul></li><li>◆保育者のアクション<ul style="list-style-type: none"><li>・ イメージが難しくなかなか取り掛かれないことが予想されるため、見本を用意して取っ掛かりを作ってあげる。</li><li>・ 色を作る際はイメージ通りの色ができない子もいると思うので、対話を行いながら進める。</li><li>・ 気持ちと合わせてその気持ちの具体的なシーンも一緒に考えてあげることでイメージしやすいように援助する。</li></ul></li><li>◆子どものアクションの予想<ul style="list-style-type: none"><li>・ はじめは戸惑うことが予想される。</li><li>・ 保育者の見本や友達の描く様子を見て、挑戦してみようとする。</li><li>・ 目に見えないものを表現してみる楽しさを感じる。</li></ul></li></ul> |
| 環境をデザインする | <ul style="list-style-type: none"><li>◆どのような場所で行うか？<ul style="list-style-type: none"><li>・ 保育室（落ち着いて集中できる環境を用意するため、対象児のみで保育室を使う。）</li><li>・ 机2台</li></ul></li></ul>   |

|         |   |
|---------|---|
|         | <p>◆どのような道具を使うのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水彩絵の具（赤、青、黄、白）</li> <li>・筆（大・中・小）×人数分</li> <li>・パレット×人数分</li> <li>・バケツや布巾×人数分</li> </ul> <p>◆どのような素材を使うのか？</p> <p>画用紙</p> <p>◆どんなことに配慮するのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達にとって未知の挑戦になるため、慣れ親しんだ水彩絵の具や画用紙を使って行う。</li> <li>・あくまで導入のために見本は用意するが、実際に描く時には見せないようにして、先入観をなるべく持たせないようにする。</li> <li>・気付いたことに対する共感や違いについての子どもなりの見解を肯定的に受け止めていく。</li> <li>・振り返りの中ではお互いの良さを認め合えるよう関わっていく。</li> </ul> |
| 小グループ構成 | 年長児6名   |

## 《保育者の振り返り》

- ・当日は年長児が3名欠席したため、急遽4歳児から3名参加してもらうことにした。
- ・「気持ちを視覚化する」という内容が難しいため、手が止まってしまったり、声あまり出てこないのではないかと予想していたが、思った以上に楽しみながら取り組んでおり、保育者の質問に答える形でそれぞれの子の思いや考えを聞くことができた。
- ・先入観が入ってしまうことを懸念して見本を見せるか迷ったが、見せながら説明したことで具体的なイメージができたようで、見本が良い結果に繋がった。
- ・子ども達の言葉を引き出す時には、「この色はどんなことをしている時の気持ち？」「この楽しいは何をしている時の楽しい色？」というような具体的なイメージがしやすい言葉がけを意識した。



# 探究活動「色」② 「気持ちを色で表現する」







保育者「みんなには色々な気持ちがあるよね」  
「どんな時にどんな気持ちになるかな？」

保育者「今日は自分の気持ちを色にしてみよう！」  
「先生は嬉しい時はこんな色、悲しい時はこ  
んな色になるかな」





保育者「怒っている時は何色？」  
児童D「紫にした！」  
保育者「何に怒っている時に紫になるの？」  
児童D「お兄ちゃんとケンカしている時！」



保育者「どうして嬉しい時は赤にしたの？」  
児童B「だってハートなんだもん♪」  
保育者「怒っている時はどうして白なの？」  
児童B「弟にリモコン取られた時はこの色！」



保育者「悲しい水色なのはどんな時？」  
児童B「お母さんが仕事に行っている時。だっていつもお母さんと寝てるから」  
保育者「緑は？」  
児童B「気持ちいい！プールに入っている時！」







保育者「嬉しいピンクはどんな時？」  
 児童F「ひなちゃんと遊んでいる  
 時！」

保育者「じゃあこの悲しい時の水色  
 は？」

児童F「キウイ食べている時！」

保育者「この紫っぽいのは？」

児童F「・・・」

保育者「何かおいしそうだね」

児童F「うん！アイス食べている時！」

保育者「この緑はどんな時の色？」  
 児童E「楽しい時の色」  
 保育者「どんな時の楽しい色？」  
 児童E「弟と遊んでいる時！」







児童D「嬉しい時は水色！Eちゃんと一緒に  
だ♪お菓子買ってもらった時が  
嬉しいんだ♪」

保育者「この紫と青の半分のはどんな気  
持ち？」

児童D「眠い時の色で、電気がついたり  
消えたりするんだ♪」

保育者「じゃあこの青と黄色は何？」

児童D「お腹空いた時の色！黄色はたく  
あんで青はガリガリ君♪」

保育者「こっちの緑は？」

児童D「エメラルドグリーンで、歌って  
いる時の色だよ♪」

保育者「何を歌っている時？」

児童D「ふるさと！」



